

## 建築防災計画

2 単位 (選択)

### Disaster Mitigation Planning for Architecture

非常勤講師, 渡辺公次郎・助教 / 建設工学科 社会基盤工学講座

【授業目的】建築物は人間が利用するものであり, その設計においては, 誰もが安全で安心して利用できることが求められる。本講義では, 建築防火とバリアフリーを取り上げ, その基礎的知識を学ぶ。

【授業概要】本講義の前半では建築防火を, 後半ではバリアフリーを取り上げ, その基礎的知識と建築物への応用について先進事例を交えながら説明する。

【キーワード】防火, 避難, バリアフリー

【先行科目】『**建築空間計画**』(1.0)

【関連科目】『**建築空間計画**』(0.5), 『**災害と建築**』(0.5)

【到達目標】

1. 建築防火について基礎的事項を理解する
2. バリアフリーについて基礎的事項を理解する

【授業計画】

1. ガイダンス, 建築と防災
2. 建築防火計画 1 建築災害の歴史
3. 建築防火計画 2 火災の基礎
4. 建築防火計画 3 防煙対策
5. 建築防火計画 4 防火対策 1
6. 建築防火計画 5 防火対策 2
7. 建築防火計画 6 避難計画
8. 建築防火計画 7 消防設備
9. バリアフリー 1 建築空間のバリアフリーの歴史と理念
10. バリアフリー 2 身体能力に応じた建築空間の設計方法
11. バリアフリー 3 バリアフリー整備基準の解説 1
12. バリアフリー 4 バリアフリー整備基準の解説 2
13. バリアフリー 5 先端のバリアフリー環境, 今後の方向性(各県の基準)
14. バリアフリー 6 大学キャンパス・バリアフリー調査
15. バリアフリー 7 ワークショップ(キャンパスのバリアフリー化)

【成績評価基準】出欠状況とレポートで評価し, 60 点以上を合格とする。

【参考書】講義中に適宜紹介する

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216512>

【備考】授業を受ける際には, 2 時間の授業時間毎に 2 時間の予習と 2 時間の復習をしたうえで授業を受けることが, 授業の理解と単位取得のために必要である。